

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 安来市赤江小学校 ～

1. 概要

7月1日(金)、安来市立赤江小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。小学校の近くにある古墳やはにわについての学習(座学)や遺物見学をしたのち、体験活動としてはにわ作りをしました。この授業を通じて、児童たちは自分たちの身近に意外に多くの古墳があることを知り、実際の古墳には行けなかったことで、逆に興味をもつことができたかもしれません。また、はにわ作り体験では、ものづくりが簡単ではないこと、それが逆にやりがいがあるものと感じた児童も多かったようです。例年にない猛暑の中でなんとか開催できてよかったと思いました。

2. 学習の様子



「踊る埴輪のポーズは、ほんとうは……」



「赤江小の近くにはたくさんの古墳が……4番の古墳からは人物はにわも出土しています。」



「この埴輪を触ってもいいですか？」



「目を入れるのは、けっこう難しい……」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・はにわ作りは楽しかった。29人(59%)
- ・学校の近くや市内にたくさん古墳があることに驚いた。8人(16%)
- ・もっと古墳やはにわについてくわしく知りたい。8人
- ・本物の古墳に行ってみたい。5人
- ・本物のはにわを触ることができてよかった。4人
- ・家など、人物以外のはにわも作ってみたい。4人
- ・はにわの展示を見に行きたい。3人
- ・勾玉なども作ってみたい。3人
- ・古墳時代の人と同じことが体験できてよかった。
- ・巨大古墳を見に行きたい。

2) 担任の先生から…

- ・大仙古墳(大阪府堺市)は、児童交流をしている白鳥小学校の近くであり、大変興味深く聞いていました。古墳と小学校の敷地の大きさを比べて、その大きさにみんな驚いていました。
- ・学校近くに古墳があることを知り、「夏休みにもっと調べてみたい」という児童もいました。
- ・安来市内から出土した本物の土器を触って観察できたことで、レプリカにはない歴史の重みを感じさせることができました。

3) 埋文センターから…

教科書には載っていない地元の古墳を知ってもらい、本物の埴輪のもつ質感や貴重さを感じてもらうことができたと思います。また、現在は「ものづくり」自体が身近に見ることができないものとなっているせいか、埴輪だけでなく、自分で様々なものを作りたいという意欲も感じることもできました。地道ですが、こうした活動を継続することで、歴史学習やふるさと学習への感心・意欲が高まることを期待しています。

今年は学校の先生方の協力のおかげで、猛暑と新型コロナへの対策をしつつ、なんとか開催できたことに感謝しています。